

- 国内最大鹿児島七ツ島メガソーラー発電所用ケーブル納入
- すばる望遠鏡用特殊大口径ファイバを受注
- FTTH Council ヨーロッパ2014 ● 第14回 光通信技術展 (FOE2014)
- フジクラニュース総括

エネルギー・
情報通信

国内最大鹿児島七ツ島メガソーラー発電所用 ケーブル納入

当社は、発電事業者として出資され、建設工事及び運営保守を担う(株)九電工殿を経由し、2013年11月1日より売電を開始した国内最大*の鹿児島七ツ島メガソーラー発電所に多くのケーブルを納入しました。

広大な敷地に約29万枚の太陽光パネルを設置するなど、工事の省力化・効率化が求められたことから、納入ケーブルの多くは、直接埋設が可能であって白蟻対策にも有効な波付き鋼管がい装(コルゲート:-MAZV)構造を採用頂いています。

当社は電気設備技術基準解釈第46条第1項の改正にあわせ、いち早くDC1,500V SOLAR-CQ 60mm²の製品化に取り組むなど、太陽電池発電設備に適した特長ある製品を取り揃え、各種再生可能エネルギーの普及に貢献していきます。

*2013年11月4日現在稼働中の太陽光発電所において(京セラ殿調べ)

■鹿児島七ツ島メガソーラー発電所の概要

発電能力	太陽光発電システム70MW
所在地	鹿児島県鹿児島市七ツ島2丁目
土地面積	約127万m ²
	約78,800MWh(予測)
発電電力量	● 一般家庭の約22,000世帯分に相当 ● 年間約25,000tのCO₂削減に貢献
総投資額	約270億円

■主要納入製品

製品群	概算数量
高圧ケーブル	23km
低圧ケーブル	18km
光ファイバケーブル	22km
通信・計装ケーブル	25km

※上表の大部分が、波付き鋼管がい装付き(写真)とされています。

■桜島を望む鹿児島七ツ島メガソーラー発電所



■波付き鋼管(コルゲート)がい装ケーブル



すばる望遠鏡用特殊大口径ファイバを受注

当社は、すばる望遠鏡に用いられる低損失な大口径ファイバ200kmを東京大学から受注しました。

宇宙と銀河・星の起源、宇宙の未来を決定する鍵を握るダークマター、ダークエネルギーの3次元地図を作り、宇宙に終わりがあるのかどうかを探っていく新プロジェクトSuMIRe*¹が発足しています。東京大学や国立天文台が進めているこのプロジェクトでは、ハワイ島マウナ・ケア山頂にある国立天文台のすばる望遠鏡に、数千の遠方銀河を観測できる分光器を取り付け、数十億光年離れた銀河を観測して宇宙の起源に迫ります。

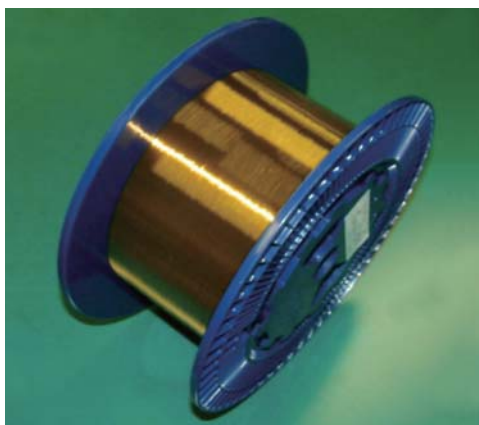
すばる望遠鏡では、望遠鏡の主鏡によりとらえられた数千の天体像の光(380nmから1300nm)を同時に観測する必要があるため、数千本のファイバで数十m先の分光器まで低損失で届ける必要があります。分光器により、その天体の光がどのくらい過去に、どのくらい離れたところから来たのかを知るための多くのサンプルデータを取得することが出来ます。さらに、微弱な光を効率良く受光するために、大口径ファイバには高開口数($NA \geq 0.22$)が要求されます。

これまで、短波長域から長波長域まで低損失かつ高開口数の大口径ファイバを実現することは困難でしたが、ファイバ構造の最適化とこの大口径ファイバに適した製造方法の開発を行うことで、紫外領域に吸収損失のある石英ガラスの構造欠陥を大幅に抑制し、広波長域での低損失化に成功しました。

従来の天体観測用ファイバ(他社製)よりも優れた特性を有していることが種々の顧客評価試験により確認され、今回の受注につながりました。今後も、当社独自の特殊ファイバ技術を生かし、社会に貢献していきます。

*1. SuMIRe:内閣府の最先端研究開発支援プログラムで採択された30件の一つ。すばる望遠鏡を使って銀河のイメージと分光器による赤方変移の観測をするため、「すみれ」SuMIRe (Subaru Measurement of Images and Redshifts)と名付けられている。

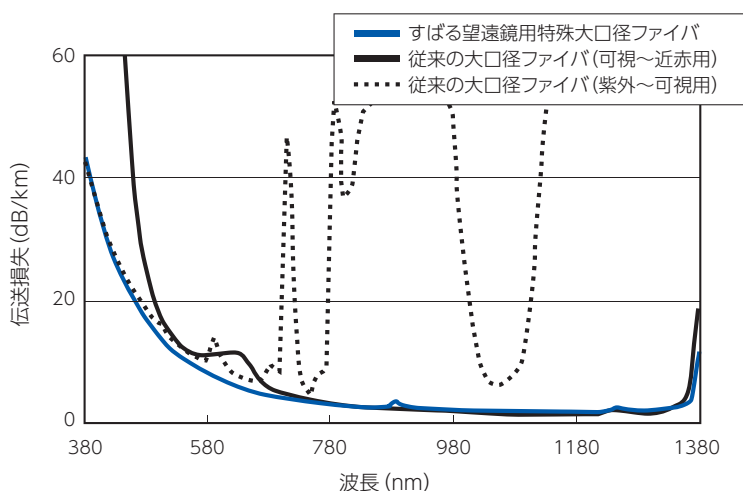
■すばる望遠鏡用特殊大口径ファイバ



■すばる望遠鏡(国立天文台提供)



■すばる望遠鏡用特殊大口径ファイバと従来ファイバの損失波長特性



FTTH Conference ヨーロッパ2014が、スウェーデンストックホルムにて2月18日～20日の日程で開催されました。

85か国から来場者3000名、出展ブース120社と欧州の通信関連展示会では最大級の規模を誇り、展示会場、カンファレンス会場共に活況を呈していました。

今回当社グループ会社であるFujikura Europe Ltd.はブロンズスポンサーとしてブース出展し、融着機の新製品である70Sのデモ展示をメインに、架空フリーアクセスケーブル、架空フリーアクセスクロージャ、ドロップ/インドアケーブル、隙間配線ケーブル、FASTコネクタ類を含むFTTHトータルソリューションを展示しました。

欧州経済も持ち直しつつある中、特にフランス、スペイン、ポルトガルのFTTH加入者の伸びが大きく、さらに他地域においてもモバイル、WiFiネットワーク増強のために光関連需要が増加基調であることを実感しました。

2014年は欧州市場にもFTTHトータルソリューションの拡販に注力していきます。



エネルギー・情報通信事業部 E-mail : telcon@jp.fujikura.com

展示会

第14回 光通信技術展(FOE2014)

日時 2014年4月16日(水)～18日(金) 10:00～18:00(最終日は17:00まで)

場所 東京ビッグサイト 東ホール(フジクラブース 25-1)

当社は、4月に東京ビッグサイトにて開催される「第14回 光通信技術展:FOE2014」に出展します。

「"つなぐ"テクノロジーの分野で、お客様に最も信頼されるパートナーになる」を合言葉に、当社はお客様へ価値ある商品及びソリューションを提供すべく、日々活動しています。

当社ブースでは、最新の融着接続機を一堂に展示することに加え、接続体験コーナーを設置し、その新機能やスピードをお客様に肌で感じて頂きたいと思っています。また、データセンタ内配線技術を19インチラックに搭載し展示するほか、ネットワーク機器、光測定器などの製品を大型パネルや実機、デモンストレーションでご紹介します。

皆様の当社ブースへのご来場を心よりお待ちしております。



昨年の当社ブース風景

精密機器事業部 E-mail : optfsm@jp.fujikura.com

エネルギー・ 情報通信

- 2013年 4月号 ●冗長光スイッチの発売開始
●FTTHシステム設計申請・施工管理業務「小海町情報通信基盤整備事業」
- 5月号 ●太陽光発電設備用直流1500Vケーブルの納入開始
●One-Click®シリーズにMPOコネクタ用がラインナップ
●光通信製品総合カタログ2013発行
- 7月号 ●IEC/ISO/IEEE 80005 陸上電力供給システム用ケーブル、コネクタの開発
●Full Configuration対応 光カメラリンクケーブルの販売開始
- 8月号 ●光ファイバ融着接続機70R、19R、19Sの販売開始
●難燃性と低発煙性に優れたエコ電線・ケーブルの開発
●融着型現場組立光コネクタにFuseConnect®SC-DCがラインナップ
- 10月号 ●耐久性を向上させた超耐紫外線光ファイバの開発
●スマートフォン背面イルミネーションにイルミパネルが採用
- 12月号 ●世界初 4キロワットファイバレーザの販売開始
●太陽電池発電所設備用直流1500Vケーブルに導体サイズ60mm²が追加ラインナップ
●流合雑音対策同軸ケーブルS-5C-FAの製造販売開始
●第51回技能五輪全国大会参加報告
- 2014年 1月号 ●第58回澁澤賞受賞
●高圧ケーブルの活線診断装置 LINDA&PDD
- 2月号 ●EV急速充電器用リードケーブル付コネクタCEバージョン
●インドネシアFTTHプロジェクト
- 3月号 ●国内最大鹿児島七ツ島メガソーラー発電所用ケーブル納入
●すばる望遠鏡用特殊大口径ファイバを受注
●FTTH Council ヨーロッパ2014に出展

エレクトロニクス

- 2013年 7月号 ●タイ国 カビンブリ工場を新設
●透明タッチキー用センサフィルムの量産開始
- 8月号 ●高周波伝送向け多層FPCの開発
- 10月号 ●細径USB3.0ケーブルアセンブリ ラインナップの充実
- 12月号 ●DISシリーズ産業用防水角形コネクタの販売開始
- 2014年 1月号 ●低反発・低反り難燃ソルダーレジストFPCの開発
●新型半導体式圧力センサ AP2/AG2、AP3/AG3、AP4/AG4シリーズの発売開始

自動車 電装

- 2013年 5月号 ●先行開発車第3号SIM-CELにシリコンシースCA電線とV2H用充電コネクタを搭載
- 10月号 ●[SUBARU XV HYBRID]に高電圧用の電装開発品4種を搭載
- 2014年 2月号 ●"Act Local, Think Global, Feel Fujikura"

研究 開発

- 2013年 7月号 ●未踏科学技術協会「第17回超電動科学技術賞」を受賞
- 10月号 ●高出力屋内用色素増感型太陽電池モジュールの開発

展示会 その他

- 2013年 4月号 ●【特集】光ファイバ融着接続機 70シリーズ、12シリーズ発売
- 5月号 ●JECA FAIR 2013 (第61回電設工業展)
●第43回国際電子回路産業展(JPCA Show 2013)
- 6月号 ●【特集】JPCA Show 2013
- 7月号 ●ケーブル技術ショー2013
- 9月号 ●【特集】CEATEC JAPAN 2013
- 11月号 ●【特集】イットリウム系高温超電導
- 2014年 3月号 ●第14回 光通信技術展(FOE2014)

株式会社フジクラ 〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1 TEL:03-5606-1112 FAX:03-5606-1501

●発行:2014年3月 No.392 ●編集兼発行責任者:和田 朗

URL <http://www.fujikura.co.jp>

関西支店 TEL.06-6364-0373 中部支店 TEL.052-212-1880 九州支店 TEL.092-291-6126

中国支店 TEL.082-211-3600 東北支店 TEL.022-266-3344



本印刷で使用する
電力のうち1,000kWhは、
バイオマス発電でまかないます。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。